名古屋市道路占用調整協議会ニュース

ディガー

2024 November

NO.49

マナカチャージ券が当たるクイズ付き!

逆走・誤進入検知警告システムを導入

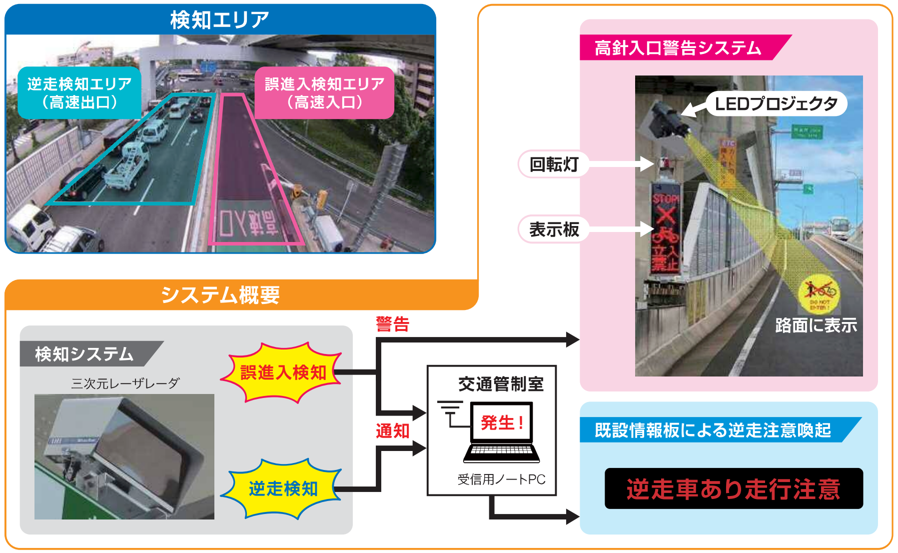
いつも近くに 名古屋高速

高速道路での逆走や歩行者などの進入は、大事故につながり大変危険です。名古屋高速では高速出入口部や本線合流部において、注意看板設置や路面標示などを実施し対策してきましたが、いまだに逆走・誤進入の事案が多い状況です。そこで新たな対策として三次元レーザレーダを用いた逆走・誤進入検知警告システムを2024年5月より導入しました。

■導入箇所　高速2号東山線 高針出入口

■逆走・誤進入検知警告システムとは？

三次元レーザレーダ検知装置により車両の逆走を検知すると、道路情報板で他の走行車両に注意喚起を行います。また、歩行者や自転車などの進入を検知した場合には、交通管制室に通知されるとともに、自動でLEDプロジェクタなどが作動し、歩行者、自転車に警告を行います。



名古屋市道路占用調整協議会

ディガー NO.49

令和6年11月1日発行　編集・発行：名古屋市道路占用調整協議会（事務局：名古屋市緑政土木局路政部道路管理課）〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL (052)972-2851　FAX (052)972-4167　メールアドレス a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

モグくんのクイズコーナー

今号をよく読んで答えてネ!

問題　名古屋高速道路で2024年5月に「逆走・誤進入検知警告システム」が導入された出入口はどこでしょうか？

❶ 千音寺出入口　❸ 高針出入口

❷ 黒川出入口

応募方法　クイズの答えと今号の感想、あなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号を記載して、はがき・FAX・Eメールいずれかの方法で応募してください。

［令和7年1月31日必着］

正解者の中から、抽選で5名の方に**マナカチャージ券1,000円分**をプレゼントします。（当選者の発表は発送に替えさせていただきます）

※応募は同一住所一通に限らせていただきます。

※取得した個人情報は問い合わせの回答、内容の確認及び発送事務のみに使用し、その他の目的では使用しません。

応募先　〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号　名古屋市道路占用調整協議会

FAX（052）972–4167

メールアドレス　a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会とは？

名古屋市道路占用調整協議会とは、名古屋市内の道路工事の時期などを関係者間で調整することで、無駄な掘り返し工事をなくし、道路工事の縮減、工事期間の短縮や効率化に努める機関です。

また、道路や道路工事に対する理解を深めていただくために広報誌「ディガー」を定期的に発行しています。

名古屋市道路占用調整協議会は、名古屋市緑政土木局、国土交通省、愛知県警察本部、名古屋高速道路公社、名古屋市上下水道局、名古屋市交通局、西日本電信電話株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社、東邦ガスネットワーク株式会社、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社などで構成しています。

下記ウェブサイトより、ディガーのバックナンバーもご覧いただけます。

編集後記

第48号のクイズの正解は「②公衆」でした。

60名の方にご応募をいただき、抽選で5名の方にマナカチャージ券をお送りしました。

今回も貴重なご意見やご質問等が寄せられました。

今後の紙面に反映していきたいと思います。クイズの回答とあわせて皆様からのたくさんのご意見やご質問をお待ちしております。

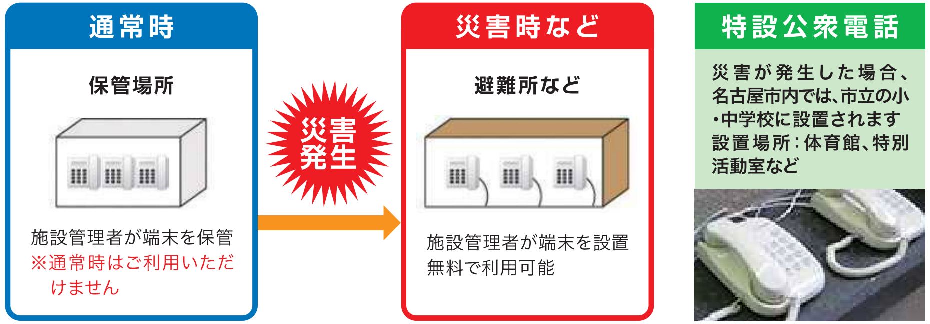
次号は令和7年3月3日発行予定です。お楽しみに!!

■ウェブサイト　https://www.nagoya-dourokouji.jp　名古屋市道路占用調整協議会

特設公衆電話について

NTT西日本

特設公衆電話は、災害発生時などにおいて通信手段の確保のために被災者などが無料で使用することができます。電話やインターネットなどの通信手段がない場合に活用しましょう。特設公衆電話（事前設置）※は市町村などの要請に基づき避難所などに事前に回線を構築します。避難所などが開設された際には施設管理者により電話機が設置され利用可能となります。 ※通常時はご利用いただけません。



「道路ふれあい月間」夏休み親子見学会を開催

名古屋市道路占用調整協議会

名古屋市道路占用調整協議会では、毎年「道路ふれあい月間」の行事として、「夏休み親子見学会」を開催しています。今年は、8月6日（火）にNTT西日本の協力のもと中区にあるNTT西日本の通信設備ビルで開催し、抽選で選ばれた15組35名の親子にご参加いただきました。見学会では、参加者に通信インフラについての説明を聞いていただき、ビル内や道路の地下にある「とう道（ケーブルが入っているトンネル）」で、実際に使用されている通信設備やケーブルを見学していただきました！見学を通して、「通信インフラ」は道路の地下にもあるということなど、公共インフラにとっての道路の役割や、道路工事への理解も深めていただけたのではないかと思います。当協議会では、これからも積極的な広報活動に努めてまいります。

会議室にて説明

とう道手前にて説明

地下の秘密基地のようなとう道

ビル内の通信設備

家庭用都市ガススマートメーターの導入

東邦ガスネットワーク

当社は、都市ガススマートメーター（以下、スマートメーター）※1をご家庭のお客さまに導入しています。本年6月から家庭用スマートメーターの設置※2を開始し、同年10月から通信を開始する計画です。通信の安定を確認できたスマートメーターから順次、遠隔検針などを実施していきます※3。2030年代半ばまでには、ガスメーターの検定満了に伴う取り替え※4などの機会を通じて、対象となるすべてのお客さまにスマートメーターを導入していく予定です。現在、家庭用に広く使用されているガスメーターはマイコンメーターと呼ばれ、お客さまのガス使用量を計量するだけでなく、内蔵しているコンピューターで24時間ガスの安全を見守っています。スマートメーターは、これらの安全機能に加え、通信による「遠隔検針」「遠隔開閉栓操作」「遠隔データ収集」が可能となる新しいタイプのガスメーターです。当社は、スマートメーターなど最新技術の活用により、東邦ガスネットワークビジョンに掲げた「先進技術による現場の革新」、「揺るぎない安定供給と安全の追求」を実現していきます。

■参考■
スマートメーターの外観

※1 通信機能付きのガスメーターです。通信接続することにより、遠隔検針などが可能になります。
※2 本年6月からの設置は、当社が導入しているガスメーターの約97％を占める家庭用ガスメーターが対象です。
※3 通信状態などによっては、従来通りの方法で検針などを行う場合もあります。
※4 ガスメーターには有効期限があるため、定期的に当社が無償で取り替えています。

快適性・利便性の高いサービスの提供

名古屋市交通局 Transportation Bureau City of Nagoya

交通局では、お客さまの快適性・利便性を高めるため、駅施設のリニューアルなどに取り組んでいます。

駅のリニューアル

地下鉄開業後50年以上経過した駅について、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を目指し、壁・床・天井・照明などのリニューアルを順次実施しています。また、主要駅は名古屋の顔としてふさわしい駅となるよう、個性化を図っていきます。

改札口（イメージ）

コンコース（イメージ）

駅のリフレッシュ

経年により汚れの目立つ駅において、壁・床・天井などの通常の清掃では落としきれない汚れに対して特別な清掃などを行い、美観回復を図っていきます。